

# 東京理科大学 野田図書館見学者の方へ

## 自由に見学ください

不明な点はカウンターまでお問い合わせください

### 開館時間

月曜日～金曜日 9:00～21:00

土曜日 9:00～17:00

休館日: 日曜・祝日・図書館の定める日

### 貸出冊数と期間

1～3年生

2週間

20点

卒研・大学院生等

1ヶ月

20点

【更新】1回のみ更新ができます。詳しくはカウンターまで  
【罰則】返却期限日を超えた場合、超過日数分だけ貸出ができません。



図書館カレンダー



資料の利用



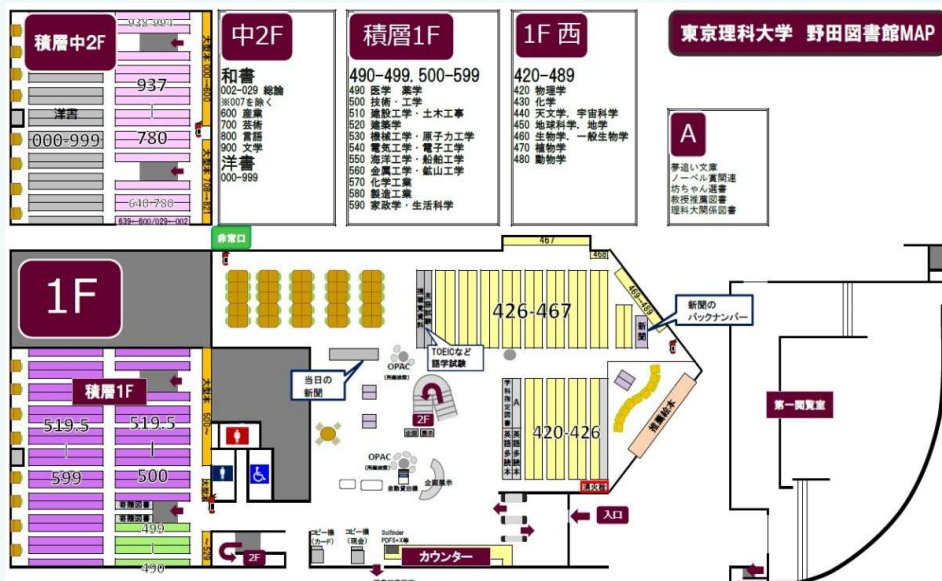
施設案内

### 東京理科大学のそのほか3つの図書館

学内利用者は、神楽坂図書館、葛飾図書館、富士見図書室の資料も、各館に来館あるいは、野田図書館に取り寄せて閲覧することもできます。4館併せて84万の図書資料、5万の電子ブック、1万の電子ジャーナルをご利用ください。【詳細:施設案内のQRコード】



【野田図書館】 libn@admin.tus.ac.jp ☎(04)7122-9157  
2026/4/1



エントランス

資料展示コーナ

新聞

自動貸出機

COPY

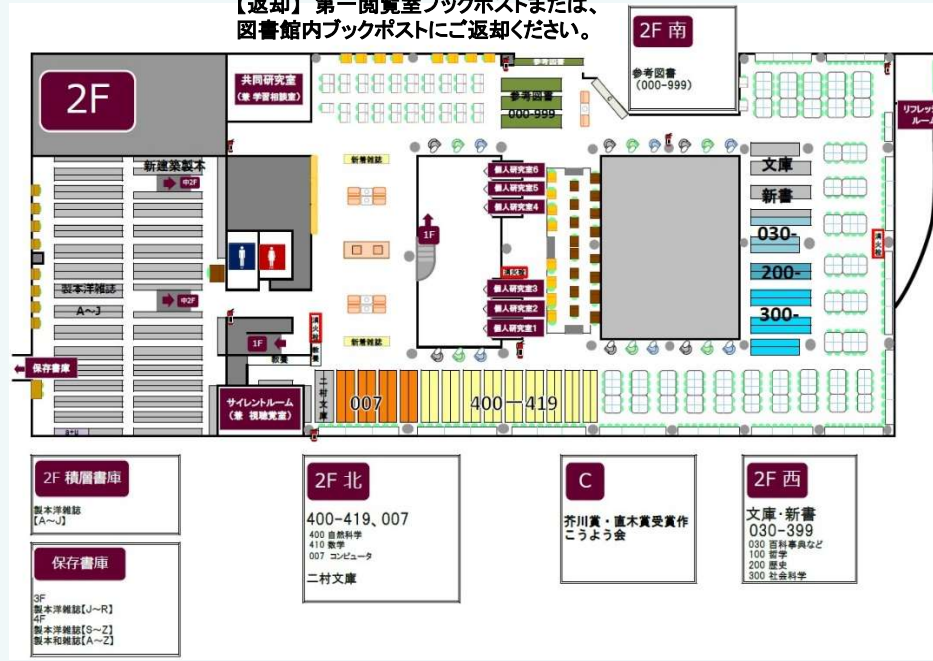
OPAC

【配架資料】自然科学(数学を除く)、工学全般から産業、芸術、語学、文学等の和書、全ての分野の洋書が、1階と積層書架上に配架されています。夢追い文庫、ノーベル賞関連、坊ちゃん関連、英語多読本等様々なコーナーもあります。積層書架の資料も、直接利用できます。

【資料展示コーナー】 エントランスゲート前に、決められたテーマで集められた資料を一定期間展示するコーナーがあります。昨年度は、「食の本」「発刊60周年 ブルーボックス貸出ランキング」「一度は手に取りたい科学の名著」等の展示をおこないました。



【返却】 第一閲覧室ブックポストまたは、図書館内ブックポストにご返却ください。



【配架資料】 数学およびコンピュータ、哲学・歴史・社会科学の和書のほか、全ての分野の参考図書、および製本雑誌(洋書)、新書、文庫などが、配架されています。また、芥川賞・直木賞の受賞作品、こうよう会(父母会)からの寄贈図書のコーナーもあります。

【共同研究室】 発表やグループディスカッション研究、授業、ゼミ等でご利用ください。会話はできませんが、他の利用者への迷惑にならないようご注意ください。また、大学院生・教員専用の個人研究室が6室あります。

【閲覧席】 パーティションで区切られた個人利用の席があります。自由にご利用ください。また、気分転換にゆったりと座れるソファもあります。(1階にも40席閲覧席があります)

閲覧席

会話NG

個人研究室

学習相談室

共同研究室

視聴覚室

## 全館で利用できる電子リソース

### 電子リソースとは

インターネットを通じてアクセス・利用できるデジタル化された資料やツールの総称で、電子ジャーナル（電子版学術雑誌）、電子書籍、データベースなどのコンテンツがあります。

大学図書館を中心に、多くの図書館で提供されているサービスです。電子図書館サービスとして、図書館外からも、24時間いつでも、どこからでも利用でき、コロナ禍以降の図書館サービスにおいても必要不可欠なツールです。

### 東京理科大学電子リソース所蔵タイトル数

電子ブック	電子ジャーナル	データベース
57,274タイトル	12,569タイトル	52種類

注1) 所蔵数は2025年5月1日現在（図書館HP公開情報より）

注2) データベースには、HPの無料公開データベース含む

### メリット

インターネット環境があれば、場所や時間を問わず24時間いつでもどこからでもアクセスして利用できます。また、全文や抄録が検索対象となる資料のほか、書名等のキーワードからの検索により、膨大な資料の中から瞬時に必要な情報を見つけ出します。検索結果も、関連性に基づきソートして表示されます。

その他、物理的な本と違い、参考文献や引用文献などのリンク機能のほか、契約形態により、複数の人が同時に同じ資料を閲覧することもできます。

### 学外からの利用方法

下記のような接続方法がありますが、利用するには大学のメールアドレス等のログインやアカウントの取得が必要です。

- VPN接続での利用（学内環境と同じ利用）
- リファラ認証での利用（My Libraryからの利用）
- プラットフォームにアカウントを登録しての利用

## 電子書籍（電子ブック・e-Book）

従来は印刷して図書の形で出版されていた著作物を、電子メディアを用いて出版したもの。従来の図書とは異なり、〈1〉表示方式、出力方式を読者が自由に変更できる、〈2〉音声や動画を含めたマルチメディアにすることが可能である、〈3〉項目間にリンクを張ったハイパーテキストにすることが可能である、〈4〉コンピュータまたは専用の機械がなければ読むことができない、などの特徴がある。コンテンツはインターネットなどで頒布され、電子書籍専用端末、コンピュータ、スマートフォンやタブレット型端末などの携帯情報端末を用いて閲覧する。

Japan Knowledge Lib: 図書館情報学用語辞典 第5版より



各プラットフォームの電子ブックを一括で検索できます。

## 電子ジャーナル (E-Journals)

従来は印刷物として出版されていた雑誌、とりわけ学術雑誌と同等の内容を、電子メディアを用いて出版したもの。電子雑誌、e-ジャーナル、オンラインジャーナルともいう。ウェブの利用が主流となっている。紙媒体の雑誌と並行して出版されるもの、電子版のみのものがある。オープンアクセス雑誌のように読者にとっては無料で公開されるものもある。

Japan Knowledge Lib: 図書館情報学用語辞典 第5版より



閲覧できる電子ジャーナルを検索し、収録範囲を確認できます。

## データベース

コンピュータによる加工や処理を目的として、特定の方針に基づいて組織化された情報ファイル。主な目的は情報検索である。ネットワーク環境下あるいはスタンドアロンで使用される。前者の形態をとるものは、オンラインデータベースと呼ばれる。CD-ROMデータベースは後者の例である。複数の観点から分類することができ、情報を記述する表現メディアから分類すると、文字主体、数値主体、画像、音、マルチメディアのデータベースがある。また、収録情報の内容からは、参照データベースと原情報データベースに分けられ、さらに前者は書誌およびディレクトリデータベースに、後者は全文データベースを含む文献、統計情報、物性、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどのデータベースにそれぞれ分けることができる。データ構造から分類すると、階層型データベース、ネットワーク型データベース、関係データベースなどがある

Japan Knowledge Lib: 図書館情報学用語辞典 第5版より。



8つのカテゴリーから、データベースを選択して検索できます。



## ディスカバリー

電子リソースを一括で検索するシステムです。  
注) 検索対象に含まれないデータベースもありますのでご注意ください。

